

コード	10102
作成年度	23年度

基本事業評価表

基本事業名称	新たな観光資源の開発とネットワーク化の推進
--------	-----------------------

総合計画の位置付け	
政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進
施策名称	魅せる観光のしまづくり

課コード	117	関係課名	総合政策課
主管課名	観光物産課		

基本事業の目的

カトリック教会群等、地域固有の財産を観光資源として活用し、新たな観光資源の開発と、雇用の創出に取り組むとともに、魅力ある観光ルートの開発や旅行商品の開発、地域全体のネットワーク化推進を図ることを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	観光客延べ数	成果指標名称 2	観光消費額
成果指標の積算根拠	長崎県観光統計	成果指標の積算根拠	長崎県観光統計
目標達成年度	平成23年度	目標達成年度	平成23年度
目標達成数値	260,000人	目標達成数値	4,800,000千円

年		度		H19	H20	H21	H22	H23
成果指標 1	目標 A	単位	人	230,000	240,000	250,000	260,000	260,000
	実績 B		人	203,885	191,044	196,103	197,591	
	達成率 B/A		%	88.6	79.6	78.4	76.0	
成果指標 2	目標 A	単位	千円	4,500,000	4,600,000	4,700,000	4,800,000	4,800,000
	実績 B		千円	3,439,000	3,262,000	3,261,000	3,359,107	
	達成率 B/A		%	76.4	70.9	69.4	70.0	

1次評価	現状	「上五島ふるさとガイドの会」の積極的な活躍の場の展開によって、しまの活性化を担う観光人材の育成と雇用の場の創出を図った。また、観光案内板や誘導板の整備充実によって、観光客の利便性の向上を図った。観光振興ビジョンに基づき、情報発信や新たな事業に取り組むとともに、修学旅行については、誘客促進に向けた新たな補助制度を模索している。
	課題	観光物産協会の組織力の強化を図ることによって、体験型観光などをさらに魅力あるものにし、地域全体としての充実したネットワーク化を図る。また、教会群や優れた自然景観の活用とともに、電気自動車の活用や韓国からの巡礼客受け入れ態勢の整備などが課題となっている。宿泊施設のインターネット等についても利便性の向上を目指したさらなる取り組みが必要である。
	改善	ホスピタリティの向上や新たなこだわりの逸品創出などによって宿の魅力を引き上げ、観光客の顧客満足度を高めるとともに、個人旅行にも対応するための情報発信体制の確立を目指す。また、韓国からの観光客に向けて接客接遇サービスの向上を図る。巡礼に特化した観光ガイドなど、より専門性を深めたガイド力の向上を図り、新たな観光資源の活用による雇用の創出を目指す。

2次評価	新規の観光客、またリピータを増加させるためのフォロー等を事業展開するうえで検討し、ポータルサイトを活用して島内の観光ネットワークは勿論のこと島外への交流ネットワークの確立を図っていくこと。また、魅力ある観光地として、新たな観光資源の開発等に取り組むこと。
------	---

住民等の意見	
--------	--

町の対応	
------	--

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。